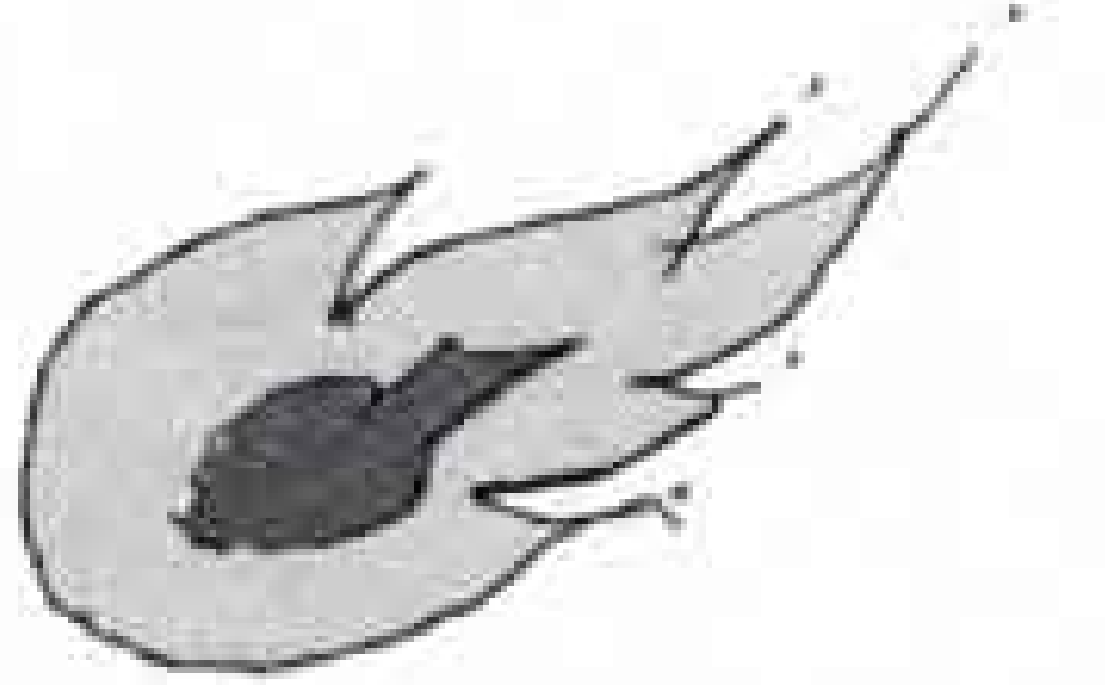


青少年センターのおばけ屋敷とバザー

おばけだぞぞ



△おばけにどくろは欠かせません



▽マスクの下は汗だく



△雪女は演技満点

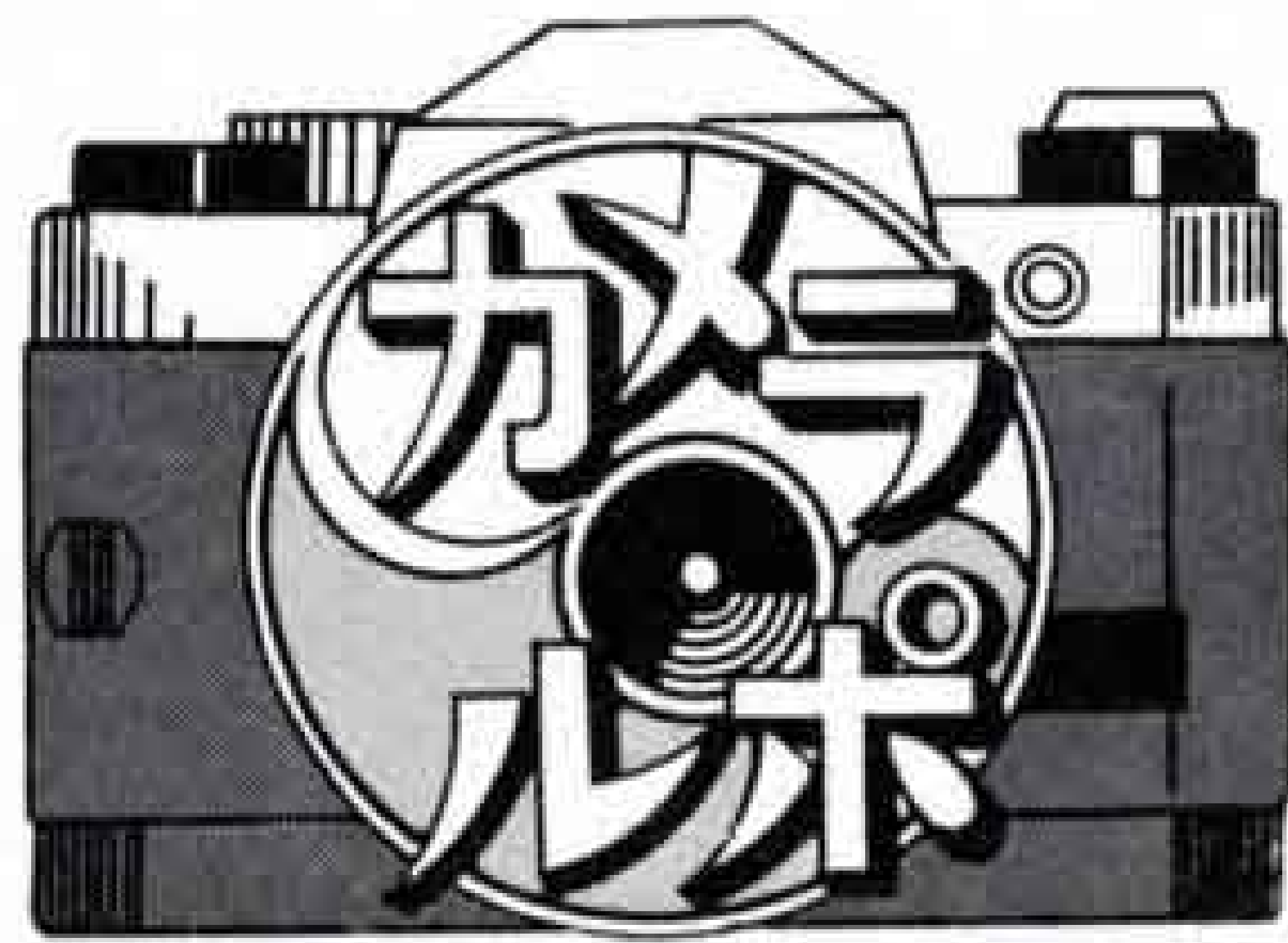


△「キャー」大人も怖がったお墓

ポクポクポク…チーン BGMはお経。ササの葉の道を恐る恐る進む子供たちの前にあらわれたのが、雪女、どくろ、ホラー映画の怪物。夏の暑さをふっ飛ばす青少年センター(広見)恒例のおばけ屋敷が、七月二十三・二十四の夜行われました。訪れた青少年は二日間二千人を超え、大盛況。会場は悲鳴に一つままれていました。



△おどかし役の裏方さんも大変



△バザーも大にぎわい

盛大に

小木の里まつり

七月二十一日(土)富士第二小グラウンドを会場に、駅南地区主催の「小木の里まつり」が開かれました。この祭りは、まちづくり事業の一環として今回初めて行われ、一万人を超える皆さんが参加しました。

小木の里とは、富士川の合戦で源頼朝が横割の八幡宮に平家追討の祈願を行い、当時この地を小木の里と呼んだという言い伝えにちなみしました。

パレードやみこしの練り歩き、各町内の模擬店など多くの催しが行われ、駅南地区をあげて楽しいひとときとなりました。

▽各町内ごとに工夫された模擬店



ウツワ、ホント。ごみが室に生まれ変わった。

リサイクル展



△よみがえった品物

七月十六日から二十二日まで、富士公民館を会場として第十回三リサイクル展が開かれました。時計五百円、ラジカセ千円、自転車六千円：会場は安売り店と間違えそうな雰囲気。品物はすべて第一清掃工場の職員が、ごみから修理、再生したものです。訪れた人々の口から出たのは「もつたいない。これがごみ？」。

展示終了後、リサイクル品は抽せんにより値札の価格で分けられました。

あなたの家で毎日100gの減量をしたら
年間 **4330** の節約!!

△ごみの減量を訴えるパネル

伊豆百景のスケッチ展



▷百八枚の力作です

伊豆の風光明媚な海岸線やナマコ壁などを、やわらかなタッチで仕上げたスケッチ展が、七月十一日から十七日まで、新富士駅のステーションプラザF.U.J.I.で開かれました。

作者は精力的な創作活動を行っている広見の菊池証寿さん。これまでの富士百景に引き続いて手がけたものです。会場では乗降客も足を止め、楽しみに鑑賞していました。

水害から市民を守る水防団

河川のはんらん等の水害から市民の生命と財産を守る水防団の訓練が、七月十五日(日)、かりがね堤で行われました。

当日は本番さながらのすごい雨。参加した約五百人の団員は、ずぶぬれになりながら、土のうづくりや、流れを緩めたり被害の拡大を防ぐ各種の工法を披露しました。そのうち、各団対抗で行われた「川倉工法」では、潤井川右岸水防分団が優勝しました。



▷土のう積みが基本